

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	ヒト肝細胞キメラマウスを用いたHBVおよびHCV感染モデルおよび肝炎モデルマウスの作製
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科・教授・水口裕之
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2021年12月13日 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2021年12月13日～2025年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	広島大学医学部附属病院・准教授・相方 浩
6. 研究の目的・意義	B型肝炎ウイルス(HBV)やC型肝炎ウイルス(HCV)の持続感染、非アルコール性脂肪性肝疾患、自己免疫性肝炎は、一般に慢性肝炎から肝硬変症、肝癌へと進展を認める。HBVやHCVに対する抗ウイルス薬の薬効評価および肝炎の病態を解明することは、今後の治療の発展、向上に大きく貢献でき意義あるものと考えられる。本研究では、広島大学医学部附属病院から提供を受けた患者血清を用いて、CRISPR/Cas12システムおよびCRISPR/Cas9システムを利用したHBVの新規治療法の開発を検討する。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	広島大学医学部附属病院にてB型慢性肝炎、C型慢性肝炎、非アルコール性脂肪性肝疾患、自己免疫性肝炎で外来受診した患者血清
8. 利用または提供する試料・情報の項目	年齢、性別、血液一般、HBV-DNA量、HCV RNA量、HBs抗原、HBs抗体、HBe抗原、HBe抗体、AST、ALT、治療暦
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせいただければ、研究対象から削除いたします。
10. 研究資金・利益相反	研究資金：AMED肝炎等克服緊急対策研究事業 利益相反：利益相反については遵守する

11. お問い合わせ先	大阪大学大学院薬学研究科・教授・水口裕之 mizuguch@phs.osaka-u.ac.jpまでご連絡ください。
-------------	--